

# わくわくばんどう

## まちづくりディスカッション2013

### 坂東版市民討議会提言会開催

昨年行われた市民討議会の報告書が完成し、発表を兼ねた提言会が1月19日にベルフォーレで開催されました。

市民討議会で話し合った内容について発表した後、「笑顔・元気・やる気 坂東市」若者に暮らしてもらおう」をテーマに、公共サービスや商業・娯楽施設、交通インフラの充実、商業と農業の産業化などの6項目について取りまとめた提言書を、古谷実行委員長が山下副市長に手渡しました。

市民討議会は来年度も開催する予定です。市民討議会の案内状が届きましたら、是非ご参加ください。

#### ■お問合せ

市民協働課 岩井臨時庁舎  
内線3252



▲古谷実行委員長による提言



▲参加した市民による発表

# ばんどう

## まちづくり

坂東市長 吉原英一



### 東日本大震災の

#### 教訓を生かし

### 災害時における 避難行動を考える

東日本大震災から3年が経ちました。原子力災害の問題を抱えながらも徐々に復興は進みつつありますが、いまだに避難者数は27万4千人にのぼります。わたしたちは、この震災を通じて得られた多くの教訓や課題を埋もれさせることなく、貴重な教訓として、今後、起こり得るであろう首都直下型地震や台風などの大災害に備えて活かしていかなければなりません。

震災以降、災害発生時に

おける物資の調達・搬送、医療救護活動、インフラの復旧などに対し支援を受けるための災害時支援協定の締結や、台風などによる河川の氾濫時にいち早く避難するための目安となる標高表示の設置、利根川沿いの住民を対象にした洪水避難説明会を行ってきました。

また、災害発生時には対策本部として機能できる新庁舎の建設計画を進めるとともに、デジタルMCA無線、衛星携帯電話、タブレット端末、ラジコンヘリコプターによる空撮システムなどの整備を行い、災害情報の収集や提供に努めているところです。

震災では東北3県で254人もの消防団員が犠牲になりました。消防団員は他に仕事をもちながら地域防災を担っており、犠牲になった団員の多くは、避難誘導や救助などに取り組むなかで津波に襲われたとみられています。震災で被災されたかたを対象にした

避難行動に関する国の調査では、「地震の揺れがおさまった後、すぐに避難しなかった」と回答したかたが43%もいました。坂東市においても同様で、河川が氾濫した場合に浸水すると予想される地域にお住まいのかたを対象に群馬大学が行ったアンケート調査では、「行政から避難勧告が発表されても避難しない」と回答されたかたが66%にもなりました。

人命救助では、消防職員や消防団員から一人の犠牲者も出すわけにはいきません。一人でも多くのかたが自ら避難していただければ、危険を冒して救助に向かう件数が減ることになります。ぜひ、みなさんにも災害時の避難行動について今一度考えていただき、災害で命をなくさないために、災害が予測できる場合は早目の避難行動を取れるよう日頃から家族や隣近所で話し合っておくことが大切です。